

令和6年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立東北中学校長

令和6年4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は3年生で、国語、数学の2教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、生徒の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	58.1%	○				
数学	52.5%	○				

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	59.2%	○				
情報の扱い方に関する事項	59.6%	○				
我が国の言語文化に関する事項	75.6%	○				
話すこと・聞くこと	58.8%	○				
書くこと	65.3%		○			
読むこと	47.9%	○				

【考察】

- 要約する・考えを書く・表現の工夫を説明するなど、自分の考えを表現する問題で無回答率が高い傾向にありました。日々の授業の中で、ノートに自分の考えを書き出すだけでなく、字数制限を設けるなどしながら、より他者に伝わる文章が書けるよう指導していきます。
- 「話すこと・聞くこと」の領域では無回答率は低いものの、設問に沿った答え方となっていない解答が多く見られました。何を問われているのかを正しく理解するために、問題を十分に読むことや普段からものごとのつながりを意識しながら考えることを指導していきます。

【数学：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と式	51.1%					○
図形	40.3%	○				
関数	60.7%	○				
データの活用	55.5%	○				

【考察】

- 「数と式」の領域では全国平均を上回りましたが、どの領域においても、記述式の問題で無回答や誤答が多く見られました。基本的な知識の定着を図るだけでなく、具体的な事例や問題を通して実践的な応用力を育む指導を行っていきます。また、生徒同士の意見交換や発表の場を多く設定し、考えを表現する力を高めることで、生徒が自信を持って自らの考えをまとめ、正確に記述できるように指導していきます。
- 「図形」の領域では、筋道を立てて考え、証明することに課題が見られました。日々の授業の中で、基本的な図形の性質を理解させ、段階的な指導を通じて論理的思考力を高めていきます。さらに、振り返りや意見交換を通して新たな発見を促し、多様な考え方で図形の性質等を証明できる力を育てていきます。

**令和6年度 全国学力・学習状況調査
質問紙調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立東北中学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、生徒の家庭学習の取組や授業の様子に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いいたします。

- 1 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

		できている	どちらかといえば できている	どちらかといえば できていない	できていない
中 3	全 国	28.2	50.4	18.1	3.0
	東北中	20.0	60.0	20.0	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 工夫することができている生徒が8割おり、自分にあった学習ができている生徒が多いと考えられます。タブレットを活用して、インターネットで知りたい情報を調べて、理解を深めようとする生徒も見られます。
- 学級で他者の学習方法について知る機会を設け、自分にあった学習方法を選択できるような取組をしている結果だと考えられます。今後も様々な学習方法を紹介する取組を継続し、学校全体で効果的な学習方法を共有していきます。

- 2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
中 3	全 国	9.2	22.5	32.6	18.4	10.4	6.6
	東北中	5.0	25.0	47.5	12.5	7.5	2.5

(単位 %)

【考 察】

- 1時間以上学習している生徒が7割近くおり、学習習慣が確立している生徒が多いと考えられます。自主学習ノートに朱書きでコメントを書き入れたり、内容が素晴らしい自主学習ノートを廊下に掲示したりして、励ましてきた成果であると考えます。今後も学ぶ意欲を高め、学力の向上につながるよう支援していきます。
- 生活学習ノートにその日に取り組む自主学習の教科と内容、学習時間を記入する項目を設けており、生徒自身が計画的に家庭学習ができるようになってきています。今後は、学習時間だけでなく取り組む内容の充実が図られるよう支援していきます。

3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
中	全 国	27.1	50.8	18.0	3.2
3	東北中	17.5	75.0	5.0	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 授業で振り返りを実施し、学習内容の定着を把握できるようにしています。補充プリントを行うことで、学習内容を定着させ、次時の授業につなげられるように支援しています。
- 各種テスト前に「放課後学習会」を実施し、分からない問題がある場合には教師に質問する機会を設けています。普段の授業ではなかなか質問することができない生徒も意欲的に教師に関わる姿が見られ、今後も継続していきたいと考えています。

4 1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。

		発表していた	どちらかといえば 発表していた	どちらかといえば 発表していなかった	発表していなかった	発表する機会 はなかった
中	全 国	22.2	42.6	23.3	9.3	2.2
3	東北中	17.5	37.5	32.5	10.0	2.5

(単位 %)

【考 察】

- 学校行事後にその行事について振り返る「書く活動」を実施しています。5分間で感想を書いて数人に発表させる活動を行うことで、書く力については徐々に身につけていると考えられます。
- ゲストティーチャーを招待して、話の伝え方や聴き方についての講演会を行いました。講演の内容をもとに今後の教育活動で発表する機会を意図的に設け、自信をもって発表できるように支援していきます。